

赤報

スターリン主義打倒、反スタマルクス主義止揚、革命的マルクス・レーニン主義復権の旗を更に高く掲げ、国際非合法党を建設せよ!

1973年2月10日発行

共産主義者同盟 (RG)

第8号 100円 発行人 野村 忠

革命戦争派の組織問題 (上)

烽火一派の組織に 関する根本思想の批判

目次

序文	(本号掲載)	(次号掲載予定)
第一章 共産主義と民主主義	(a) スターリンの組織論	(a) スターリンの組織論
第二章 烽火一派の組織問題	(b) 六回大会議と「六規律」	(b) 「体系的非合法党」
第三章 烽火一派の組織問題	(c) 二つの組織批判	(c) R.G.の清算
(a) スターリンの組織論	(d) R.G.の清算	(d) R.G.の清算
(b) スターリンの組織論	(e) R.G.の清算	(e) R.G.の清算
(c) スターリンの組織論	(f) R.G.の清算	(f) R.G.の清算
(d) スターリンの組織論	(g) R.G.の清算	(g) R.G.の清算

序文

革命戦争派が断絶され、消滅し、組織問題が更に深刻化し、本報は、革命戦争派の組織問題について、その根本思想を批判する。

第一章 共産主義と民主主義

(a) 共産主義の政治的 組合主義的結合

スターリンの組織論を批判する上で、本報は、革命戦争派の組織問題について、その根本思想を批判する。この根本思想は、共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合である。

「共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合」とは、共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合を意味する。これは、共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合を意味する。

「共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合」とは、共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合を意味する。これは、共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合を意味する。

(b) プロレタリアートの 独裁、革命戦争

次に、共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合を意味する。これは、共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合を意味する。

「共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合」とは、共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合を意味する。これは、共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合を意味する。

「共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合」とは、共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合を意味する。これは、共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合を意味する。

「共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合」とは、共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合を意味する。これは、共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合を意味する。

「共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合」とは、共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合を意味する。これは、共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合を意味する。

「共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合」とは、共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合を意味する。これは、共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合を意味する。

「共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合」とは、共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合を意味する。これは、共産主義と民主主義の政治的組合主義的結合を意味する。

争、革命勝利によるブルジョア階級の没落が不可避の条件である。今日、この革命勝利の条件は、民主主義的争いである。今日、この革命勝利の条件は、民主主義的争いである。今日、この革命勝利の条件は、民主主義的争いである。

第二章 烽火一派の組織に 関する根本思想(I)

(a) 解党主義と サークル根性

71年秋、共産主義同盟分派闘争から烽火一派が、党、軍事組織から脱退した事案の中に、解党主義の根柢は、71年秋の分派闘争の基本問題である。烽火一派の根本思想は、71年秋の分派闘争の根本問題である。烽火一派の根本思想は、71年秋の分派闘争の根本問題である。

烽火一派の根本思想は、71年秋の分派闘争の根本問題である。烽火一派の根本思想は、71年秋の分派闘争の根本問題である。烽火一派の根本思想は、71年秋の分派闘争の根本問題である。

(b) 基本組織と 軍事組織

烽火一派の根本思想は、71年秋の分派闘争の根本問題である。烽火一派の根本思想は、71年秋の分派闘争の根本問題である。烽火一派の根本思想は、71年秋の分派闘争の根本問題である。

烽火一派の根本思想は、71年秋の分派闘争の根本問題である。烽火一派の根本思想は、71年秋の分派闘争の根本問題である。烽火一派の根本思想は、71年秋の分派闘争の根本問題である。

さすがに兄弟の血は争えない

純粋民主主義のお喋りの一大洪水

いづゆる八・二五共闘諸派について

はじめに
一九七五年の日本労働総連合会
異なるとは、大衆の...

①「日本労働党」の空中分解

「日本労働党」は、七五年五月、
共産党の二二式に賛同して...

②遊撃戦を清算し合法デモ機関へ解消

ブルトン主義者としての者は、
遊撃戦を合法デモ機関へ...

共闘の成立、結集点

八・二五共闘の成立、結集点
「沼地」の形成...

共闘の成立、結集点

八・二五共闘の成立、結集点
「沼地」の形成...

共闘の成立、結集点

八・二五共闘の成立、結集点
「沼地」の形成...

共闘の成立、結集点

八・二五共闘の成立、結集点
「沼地」の形成...

「これは大抵その要諦が、この二、三の論議で述べられてゐる。……」

「この文書の提出した時をふりかへり、その目的が、この文書の目的が、誰にもこの文書の目的が、誰にもこの文書の目的が、誰にも……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

② 日共革命左派の組織思想批判

革命戦争派の組織の成長

の統と軸とした共産主義化論

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

